

# 羽田増便による都心での新低空飛行ルートの再検討を国に求めることに関する請願

東京都議会議長 尾崎 大介 様

2017年 月 日

紹介議員

羽田増便による低空飛行ルートに反対する品川区民の会  
共同代表 三橋 泉  
〒140-0011 東京都品川区東大井2-27-9  
TEL.090-3216-9968

## 願意

最近続発した旅客機からの危険な落下物事故で、新都心低空飛行ルートへの品川区民の不安はいっそう大きなものとなりました。都はこれを重く受け止め、新都心低空飛行ルートの再検討を国・国土交通省に強く求めてください。また都は「羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会」を早急に開催して協議し、この不安を解消する方向を打ち出して下さい。

## 理由

国・国土交通省は、2020年実施をめざす羽田増便による都心での新低空飛行ルートの危険性について全く検証していません。2017年9月23日に大阪市で発生した旅客機の胴体パネル（4.3kg）が落下し乗用車に激突した事故は、全国に大きな衝撃を与えました。羽田増便による都心低空飛行ルートが実施されると、密集地帯である都心や超低空飛行となる品川区が、このような落下物事故の危険にさらされることが明確になりました。

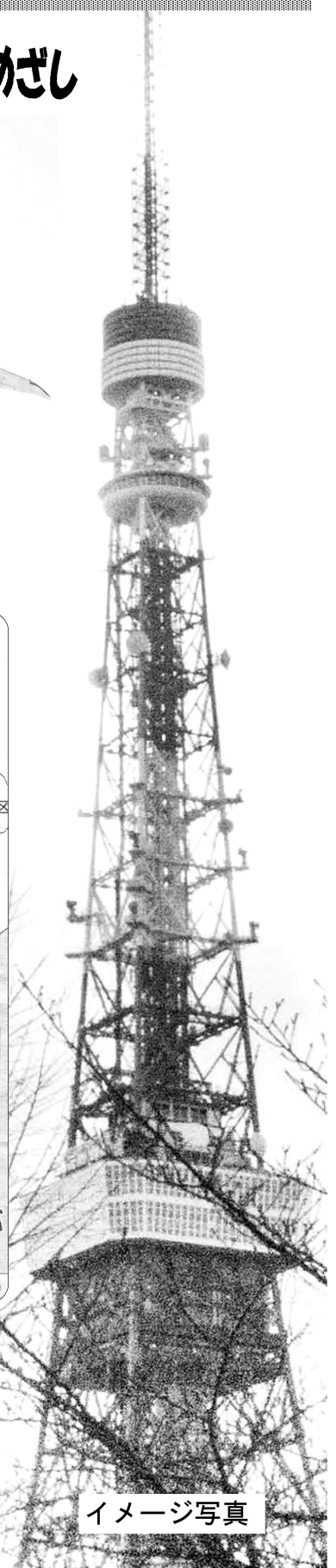
国・国土交通省は2016年7月、「環境影響等に配慮した方策」とする都心低空飛行の実施計画を発表しました。このなかで安全性確保の方策を示していますが、落下物ひとつを見てもゼロになる保障はありません。その危険性の検証もせずに計画実施に進むことは、品川区民の生活の安全・安心を脅かす重大な問題です。

都は、国・国土交通省にたいし、新都心低空飛行ルートの再検討を強く求めて下さい。また区民の声に応えるため「都及び関係区市連絡会」を早急に開催し協議して、住民の不安解消の方向を打ち出して下さい。

氏 名	住 所

# 東京タワーより低く飛ぶ

国際線旅客機が2020年東京五輪・パラリンピックめざし



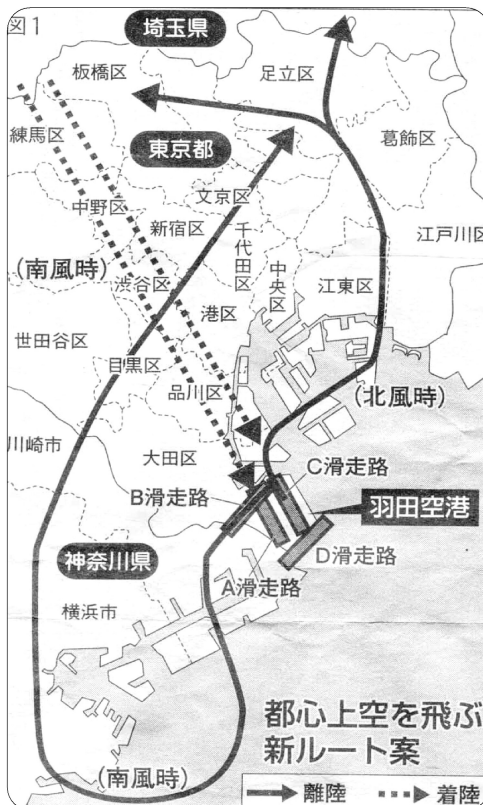
## 品川の環境が激変

### 超低空飛行ルート撤回を

国土交通省は、2014年7月に羽田空港機能強化のための増便計画を発表しました。

これによると南風時（点線のコース）を15時から19時の間、1時間当たり44便の国際線旅客機が、着陸するため品川区の超低空を飛ぶこととなります。

現在、羽田空港の離着陸機は、「海から



入って海に出る」ルールが守られています。これが破られることとなります。

いま国交省が明らかにしている高度は、

五反田駅で450m、大井町で300m、

大井競馬場で240m、東品川海上公園付

近で300mです。300mの高度で騒音

は、80デシベル、地下鉄の車内の音になり

ます。こんな生活環境の破壊は、いかなる

理由があつてもやるべきではありません。

## 旅客機から

### 落下物も

9月下旬、大阪

市で旅客機からの

落下物（4・3kg）

が、走行中の乗用

車に激突する事故

が起きました。

これが都心での低

空飛行ルート下で

も起こりうること

を示しました。こ

んな危険な低空飛

行ルートは撤回し

かありません。

イメージ写真